

▶ 宇和島市では、市内で生まれた赤ちゃんに対し、誕生祝い品として地元産木材を活用した積み木ボックスを贈呈し、はじめて遊ぶ玩具に木のぬくもりを感じられる「木育」を推進するとともに、木材の利用促進を図る。

□ 事業内容

- 令和5年4月1日～令和6年2月29日に市内で生まれた赤ちゃんに地元産木材を利用した積み木ボックスを贈呈。

【事業費】1,566千円（うち譲与税1,270千円）

（譲与税は、積み木ボックス製作費に係る部分に充当）

【実績】300個（購入数）

※こども家庭課（福祉部局）の事業として実施

□ 取組の背景

はじめて遊ぶ玩具に木製品を使うことで、木のぬくもりを感じることができ、「木育」の推進につながるため。

□ 工夫・留意した点

- ・木育につながるよう、こどもが手にとって興味を示すようなデザインとした。
- ・製作を委託した業者は、地元産木材に拘り、積み木ボックスに使用する木材を自ら伐採し、加工・製造している。

□ 取組の効果

- ・令和5年度において270人の新生児に積み木ボックスを配布することができ、木育の推進を図ることができた。
- ・地元産木材を使用することで木材の利用促進を図ることができた。



（積み木ボックス）



（積み木ボックス）

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：51,680千円	②私有林人工林面積（※1）：9,979ha
③林野率（※1）：70.8%	④人口（※2）：70,809人
	⑤林業就業者数（※2）：118人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より